



CSN だより

第2号
 平成20年9月1日
 特定非営利活動法人
 キャリアサポートネットワーク
 千葉県船橋市緑台1-3-1-304
 TEL: 047-440-1790
 http://www.cs-network.jp

第3回キャリア研修プログラム2008のご案内



「今年の研修に
 期待するもの」

副代表理事 西原 真人

ファシリテーションとの出会いは、今から11年前、TPIジャパンで自己イメージ心理学と、EQ思考を学んだ時でした。当時ファシリテーションの概念は一般的ではなく、「促進する、円滑にする、～人々の活動が容易に出来るように支援し、うまくことが運ぶように舵取りをする」ことだと初めて知りました。

CDAとして、横浜のある高等学校でキャリアセミナーの手伝いをした際に、ファシリテーションの重要性を痛感しました。企業研修は慣れていたのですが、生徒の少ない人数が、話を聞かず、携帯をいじったり、お喋りや居眠りなど～今の高校生はこうなのか～カルチャーショックで、どうセミナーを運営していくか戸惑いました。

先輩CDAが、ファシリテーターとして活動する様子を門前の小僧で学習したことが、今の若者支援の道に繋がっていきます。そんな時、JCC主催の“内的キャリアと積極的傾聴”セミナーで小澤先生、寺田先生のご指導を受けました。両先生はワークで実技を体験できる実践的なもので、理解しやすくCSNの基本スタンスと一致しています。

今回のセミナーでは、寺田先生というファシリテーションの第一人者に講師をお願いし、1日の実践的なワーク中心のプログラムを用意していただくことになっています。寺田先生は、別紙のとおり多方面でご活躍ですが、日本産業カウンセラー協会東京支部養成講座で、理論講師・実技指導もされています。これからキャリア・コンサルタントとして、技能検定等一つ上を目指す方にもスキル向上の良い機会となります。是非CSNメンバー以外の知人の方もお誘いください。

第3回CSNキャリア研修プログラム2008

今年も、CSN主催の研修を開催いたします。今年も、昨年の小澤康司先生の個対個のカウンセリング・スキルを傾聴スキルの延長線上に、個対複数に焦点をあて、寺田正美先生を講師に迎え、「カウンセリングマインドのあるファシリテーター～個への関わりからグループへの関わりへ～」と題して、グループ・ファシリテーションを実践的に学ぶために実技やロールプレイング、グループワークを豊富に盛り込み研修を行います。

寺田先生は、日本カウンセリング学会認定スーパーバイザーの他、多数の研修講師など経験されており、当日は豊富な経験に裏打ちされた理論や知識が身につく貴重な機会になるかと期待しております。会員の皆様、CSNの活動に関心を持たれている方、多数の参加をお待ちしております。(大島 記)

「CSN キャリア研修プログラム 2008」

日時：2008年10月18日(土) 10:00-17:00

会場：船橋市民文化創造館「きららホール」

千葉県船橋市本町1-3-1 フェイスビル 6F

船橋市民文化創造館「きららホール」電話 047-423-7261

●交通：JR総武線船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、下車南口駅前。

お申し込み、お問い合わせは：

電話：047-440-1790

メール：info@cs-network.jp

までお願いします。



昨年のキャリア研修プログラム 2007 風景

女性のための再就職支援

CSNでは、平成17年度より女性のための再就職支援に力を入れてきました。結婚、出産を機に仕事を辞めた女性達が、再び社会復帰をしたいという願いに応えるためです。再就職を希望する女性達の中には、シングル・マザーもいます。児童手当をはじめ、様々な手当が数年のうちには半減し、社会の中で自立することが求められています。これらの状況を踏まえ、一人でも多くの女性が、自身の納得のいく就業ができるようセミナーやカウンセリングを通じて支援をしています。

これまでの活動は、船橋市（児童家庭課）や千葉市女性センターにおけるセミナー実施が中心でした。内容は、●職業選択における自己の適性についての考え方●就職情報入手●履歴書の書き方●面接試験への対応方法（面接マナー、自己アピール、質問の答え方等）などです。これに加えて、昨年（平成19年）3月に行った船橋市児童家庭課主催のセミナーでは、シングル・マザー向けに「マナー・プラン」も取り入れました。現在から将来に向けて、子供の成長や自分自身の環境変化に伴い、家計はどう変わっていくのか、どのように対応するのか等を、自分自身で具体的に数字を入れて検証し、問題点をつかみ、対策を考える。これを講師指導の下に実施しました。また、将来の家計を安定させ、安心して暮らすための重要な要素となる年金についても講義を行いました。

セミナーでは、個別のニーズ対応ができませんでしたが、後半に前述の内容をブースに分け、受講者が夫々興味のあるテーマを選んで受講する方式を取り、希望者には個別カウンセリングも実施しました。受講者の方々からは「受けてよかった」との声を頂き、CSNメンバーも大いに手ごたえを感じています。

今後は上記の内容を更に充実させるとともに、就労後ブランクのあった人でもスムーズに業務ができるよう、必要なスキルを習得できるプログラムを考案中です。多くの女性が輝くために！をキーワードに支援の拡大を図って行きたいと考えています

（山川 記、補稿 林）

大学生事業への取り組み

CSNでは設立以来、県内大学などで若者への自己理解セミナーを実施してきました。「自分Beセミナー」と題して、自分はなにものなのか、自分らしさとはを考えてもらうことにより、将来の職業、就職へ結びつけてもらうことが目的です。下記はカリキュラムの例ですが、参加者には楽しく、わいわいがやがやと過ごしてもらいながら、「自分ってこうだったんだ」という気づきを感じてもらいます。

コミュニケーションの基本理解から、社会人として求められることを理解しながら、自分の特徴や個性を確認



し、どのように伸ばしていくか、なにを目指していくかを学生生活

プランにまとめていきます。

実施は学校のニーズに沿ってスケジュールを調整いたしますが、これからの学生生活に目的意識をもったり、就職への心構えができ自信がついたなど参加者からの評判は上々です。（大島 記）

◆自分Beセミナー

大学生を対象に、「新商品を開発せよ！」セミナーを中心に、「アイドルを追っかけろ！」「はじめてのおつかい」などゲーム主体に、自己理解、コミュニケーション、チームワークの理解から学生生活の目標作成までを行います。大学生活をより充実して過ごすために、より自分にあった就職を目指すために、キャリアサポートネットワーク（CSN）一番のおすすめ総合セミナー。



高校生事業への取り組み

CSN 独自の

職業人インタビュー授業

昨年度（平成19年度）から3ヵ年事業として始まった「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」ですが、平成20年度は2年目に入り、活発な支援活動を展開しています。学校側に積極的にかかわりながら、高校生のキャリアデザインを支援するため、CSNの持っているプログラムが活用されています。

6月27日には松戸馬橋高校で2年生120名を対象に「職業人インタビュー」プログラムを実施しました。我々CSNのメンバーがこれまでの社会人



経験をインタビュー形式で語り、生徒への質問・生徒からの質問を受けながら進行していくプログラムです。一方的な社会人講話ではなく、生徒を巻き込みながら進めるこのプログラムはCSNのオリジナルとして定着しつつあります。

また、7月に入ってから、夏休み中に生徒達は職場見学等に出かけるので、直前研修として面接対応やビジネスマナーのセミナーを実施しました。特に東金高校は生徒達がみな熱心に取り組み、CSNメンバーも先生からの終了希望が出るまで予定時間を忘れて生徒達の声に応えました。9月に入ると就職活動が本格化します。一人でも多くの生徒が希望の職場に内定しますように、我々も力いっぱい応援したいと思います。

（早川 記）

毎日の生活の中にキャリア教育がある

6月21日「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究委員会」が千葉県教育振興部指導課の主催で千葉県立松戸馬橋高校にて開催されました。

この調査研究にかかわる千葉県立高等学校4校の教頭先生・進路指導教諭、有識者、千葉労働局、研究組織委員（千葉県商工会議所・PTA連合会）、ジョブカフェちばのカウンセラーそして直接生徒達のキャリアカウンセリングを担当しているCSNメンバーも会議に参加しました。千葉教育庁副参事の仲佐様の挨拶のなかで、この事業の目的は、「智・徳・体の調和」により「真に生きる力」を高校生に持ってもらうための事業であるというお話がありました。出口指導に偏ってしまう進路指導ではなく、生徒達が長い人生をどう充実させていくのか、その一翼をCSNが担っているのだと、あらためて身をひきしめました。

また、会議の中で、生徒達がキャリアカウンセリングを受けても、結論を教えてくれなかったという意見があったとの報告が出されました。キャリアカウンセリングは、決して結論を伝えるものではなく、一緒に考え整理し、より自分らしい進路を見つけるためのものであることを、再度出席された各高校の先生方にお伝えしました。日常の学校生活の中でも結論をすぐ教えるのではなく、生徒達が自ら考えていく力を付けるのも、キャリア教育の一環ではないかという発言もありました。

キャリア教育はまったく別なフィールドにあるものではなく、毎日の生活から学ぶことができるものだと思います。毎日の心がけが自分のキャリアになっていくのですから、その心がけのきっかけを与えるのも、キャリアカウンセラーの大きな役割なのかもしれません。

（早川 記）



CSN メンバー紹介

中小企業は人材難！

(キャリアコンサルタントの出番です)

副代表理事 萩原隆夫

東京商工会議所が本年4月にまとめた中小企業の経営課題に対するアンケート調査によると今後の経営課題に人材の確保・育成を挙げた企業は57.7%でトップ。ここ数年で常に半数を超える企業が同項目を選び中小企業が人材確保に頭を悩ませている状況が浮き彫りになっている。

平成16年より始まった若年者就職支援施設ジョブカフェでは無料で中小企業向け各種サービスを提供、マッチングを行い中小企業の人材確保に貢献してきています。

昨年春より(株)リクルートが就職ショッブを開設し、中小企業にマッチング出来ると企業から報酬を得るサービスを始めました。

又、ここへ来て人材派遣パソナグループは全国の大学近隣に常設の就職相談所を展開。先ず、今夏関西大学前の学生街に開設するそうです。自力人材確保が難しい中小企業の求人情報を学生に提供し、人材獲得に成功した場合歩合制で報酬を得るそうです。5年後をめどに100ヶ所程度の開設を目指すそうです。

私達キャリアコンサルタントは人材確保がむずかしい中小企業へ、若者を正規社員としてマッチングするお手伝いをしたいものです。

書籍紹介 全国進路指導研究会 編



「働くことを学ぶ一職場体験・キャリア教育一」

これは、中学校・高校の進路指導の先生8名(元進路指導経験者含む)によって書かれたものです。各学校のキャリア教育の取り組みが事例として取り上げられています。

昨今、「SCHOOL TO WORK」のスムーズな移行が困難な時代です。だからこそキャリア教育を、と訴えている8人の先生方の奮闘が垣間見られます。是非ご一読下さい。

(早川 記)

第5回 通常総会報告

代表理事 大島 裕孝

第5回通常総会が、平成20年6月8日に開催されました。本人出席16名、委任状提出者5名、書面表決者2名、合計23名の出席にて行われました。

総会では、平成19年度事業報告、決算報告が承認され、任期2年の役員改選の年でもあり、現役員、推薦候補者から投票により、次の新たな役員が選任されました。

代表理事	大島啓孝
理事	西原真人
理事	萩原隆夫
理事	大平隆司
理事	川端康生
理事	中尾昭男
理事	山川ひろみ
理事	岡田 昇 新任
理事	早川由美 新任

監事	安藤智吉
監事	林 康次 新任

なお、改選に伴い、次の者が退任となっています。

小梶和男	理事退任
太田順子	理事退任
西村武史	監事退任

平成19年度収支報告の概略は次の通りです。

特定非営利活動に係る収支報告	
収入	1,564,502 円
事業支出	1,278,429 円
管理費	466,526 円
当期繰越差額	△180,453 円
※その他事業は計上ありません。	



編集後記：活動が活発になり、原稿も早めに集まるようになりました。内容が充実しているために量も増えたのはいいのですが、紙面に収めるにあたりかなり短縮させていただきました>(*^_^*)